

受賞おめでとうございます

- 新井宿自治会連合会 感謝状贈呈
- ◇ 退任副会長 新井宿六丁目町会 中里 勝
 - ◇ 永年在職者
 - 山王三・四丁目自治会 影山 昭栄 山王三丁目町会 中根 良夫
 - 町田 俊貞 上岡 令子
 - 梁田 彰 間宮 洋子
 - 中央一丁目町会 岩井 信夫 新井宿六丁目町会 田中 亨
 - 田中 静江 柳川 輝雄
 - 新井宿七丁目町会 金井 浩司 宇田川 淳一
 - 佐藤 正治
 - 高橋 功
 - ◇ 自治会・町会正副会長20年在職者に対する感謝状
 - 中央四丁目町会 立石 恒卓
 - 山王三・四丁目自治会 浦野 栄一
 - ◇ 民生委員・児童委員永年勤続表彰 10年以上
 - 江黒 きよ子・平林 千賀子・宮村 良治・齊木 貞子・篠田 昭美

地域のできごと

黒鶴稲荷神社の工事について

中央5丁目の黒鶴稲荷神社は、山王3丁目荒蘭ヶ崎熊野神社の飛地境内地です。昔から等閑森と呼ばれ、鎮守の森として地域の皆さんに親しまれてきましたが、崖地高台にあるため斜面が崩れ近隣のお宅に直接被害を及ぼすなどの危険があり、土砂災害特別警戒区域に指定されました。昨今では異常気象現象による崖崩れなどが頻繁に発生し人命が失われるなど、他人事では済まされない状況ですが、対策の防災工事には膨大な費用が掛かるため苦慮していたところ、この度境内地を老人ホームの事業用地として貸し、社殿と社務所も新しくするとの一発開設計画がまとまり、氏子会・町会の合意も得て工事が始まりましました。危険な崖を全て取り払う大規模な工事で、期間中近隣の皆様にはご迷惑をお掛けし申し訳ございませんが、令和5年の春には、熊野神社へ仮住まい頂いている宇迦御魂の大神様を新たな社殿にお迎えし、リニューアルした社務所がお披露目される予定です。



完成予想図

編集後記

160年前に建てられた狐碑の碑文解説の記事に取り上げた28号から19年後、更なる発見を今号に掲載しました。快く取材にご協力頂き、興味深いお話を聞かせて下さった竹内さん、ありがとうございます。

大変想像力をかき立てられました。二度あることは、未来で三度目の記事が待っているかも知れません。

明治末期か大正時代でしょうか。この新井宿で「狐の嫁入り」を母は見た

そうですと云う方に、先日お会いし驚きました。百年以上も遡ると、新井宿の景色も今とは相当違うものだったことでしょう。人と狐との距離も、ずっと近かったのだと思います。

コンコンコロナの世界中での終息を願い、コンコン狐さんの霊力を祈る私は、身勝手な人間の一人です。

今年の年越しは、「きつねそば」にしようかな。

(関口編集委員長)

新井宿特別出張所管内の世帯と人口 令和3年10月1日現在

- 世帯数…11,546世帯 前年同月比 -80世帯
- 総人口…21,693人 前年同月比 -208人(男-114人 女-94人)
- (男…10,791人 女…10,902人)

敬老の日を祝して

(新井宿五丁目町会)

町会の長年に亘る年間行事の一つである敬老のお祝い金の贈呈を実施いたしました。町会会員の皆様に回覧で、一斉に周知を図り、申請に基づいてお祝いの金一封をお届けして長寿を祝福いたしました。

今年度は、令和2、3年度の長寿お祝いに該当する方が対象でいらっしゃいました。100歳以上の方は、女性1名でした。77歳喜寿、80歳傘寿、88歳米寿、90歳卒寿、99歳白寿、100歳紀寿 祝福対象者総数135名

- 令和3年度分 80名(男性36名、女性44名)
- 令和2年度分 55名(男性18名、女性37名)



長田稲荷神社について

現在は空き地となっております大田区山王3-10-9の所に、今年の初めまで、長田稲荷神社があったことは、ご承知の方も多し事と思います。実際この辺りには長田という地名が残っており、江戸末期より地元の方々に親しまれてきました。

戦後には、長田稲荷神社崇敬会が発足し、新井宿五丁目の方々を中心とした会員の皆様が、ご社殿の補修・境内清掃・除草・境内樹木の枝打ち等の活動を行ってこられました。また、毎年2月の初午の日では、幟旗の設置・ポスター掲示や一般参列者へのお菓子等の配布などを行い、多くの人でにぎわいを見せておりました。

しかしながら、近年では、少子高齢化に伴い、将来の神社の運営も困難になってまいりました。そこで、長田稲荷神社を春日神社の末社の稲荷神社に合祀することで話がまとまり、この令和3年1月28日(木)に、合祀祭を行いました。

地域の方に長年親しまれた「長田稲荷神社」は、しっかりと春日神社の末社の稲荷神社に受け継がれていきます。



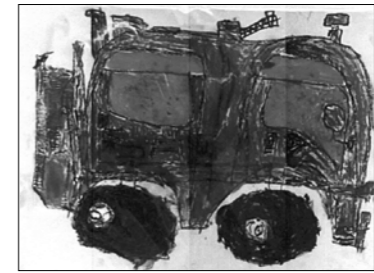
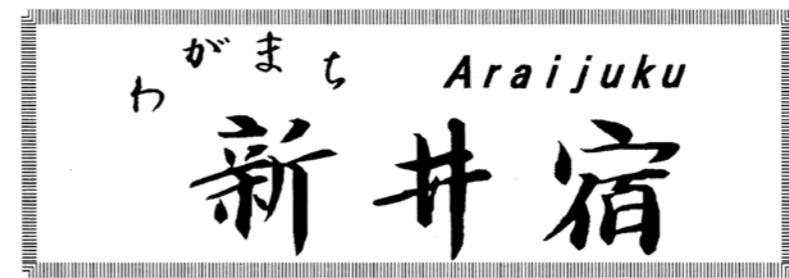
長田稲荷神社

発行 地域力推進新井宿地区委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

- | | | |
|------------|--------|-------|
| 中央一丁目町会 | 編集委員長 | 関口直人 |
| 新井宿五丁目町会 | 副編集委員長 | 谷口敏子 |
| 新井宿七丁目町会 | 副編集委員長 | 福田スミ |
| 山王三丁目東自治会 | 編集委員 | 荒木秀樹 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 三沢清太郎 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 大瀬眞理子 |
| 山王三丁目町会 | 編集委員 | 吉川信一 |
| 山王三丁目町会 | 編集委員 | 稲田祐命 |
| 中央一丁目町会 | 編集委員 | 形見俊郎 |
| 中央四丁目町会 | 編集委員 | 立石恒卓 |
| 新井宿五丁目町会 | 編集委員 | 加藤弘子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 松原美枝子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 雉本まり子 |

……共同編集……

監修 新井宿自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央1-21-6 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



「消防自動車」
入新井第四小二年
宮坂 旬さんの作品
(はじき絵)

福祉と文化と医療のまちの

スペシャルデー



スペシャルデー おもいやり強化月間

新井宿福祉園と障がい者総合サポートセンターで、それぞれ行っていたお祭りを統合し、新井宿地区全体のお祭りとして令和元年度にはじまったのが、「福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー」です。

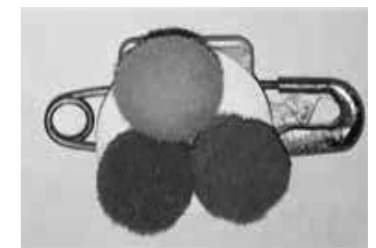
今年度は、コロナ禍にあってもできることを模索し、「スペシャルデー おもいやり強化月間」という取組を行いました。11月をおもいやり強化月間とし、地域や施設利用者の方々に、「勇気をだして、相手のために行動しましょう」などをお願いをしました。そして、「新井宿おもいやりバッジ」を作成・配付し、この取組に賛同していただける方に付けていただきました。例年とは違った形となりましたが、皆がいつも以上に優しくなり、お互いを思いやり、尊重し合える地域の実現に一步近づくことができました。



新井宿おもいやりバッジの作成風景

スペシャルデー おもいやり強化月間中に、皆様にお願ひしたこと

- 誰もが住みやすい地域を実現するために、自分ができることを考えましょう。
- いつもより積極的にあいさつをしましょう。
- 勇気をだして、相手のために行動しましょう。



新井宿おもいやりバッジ
ピンクは福祉、緑は文化、青は医療を表現しています

「福祉・文化・医療のまち新井宿宣言(仮称)」の策定に向けて

次年度は、様々なイベントに加え、「福祉・文化・医療のまち新井宿宣言(仮称)」を行う予定です。新井宿地区は、新井宿福祉園・障がい者総合サポートセンターなどの福祉施設が多く、文化活動の拠点である大田文化の森があり、さらには多くの医療機関が所在しています。こうした新井宿地区の特性を活かし、誰もが住みやすい地域の実現を目指すことを宣言する方針です。

なお、次年度に同宣言を行うことは、スペシャルデー実行委員会鈴木英明委員長が関係機関のホームページにて発表しました。



鈴木実行委員長のメッセージ動画
(手話の通訳付きです。)



江戸末期 新井宿の狐退治をしたのは!

発見者（竹内眞治さん）と狐碑の写真、びっくりする見出しの記事が東京新聞の令和3年7月19日（月）に裏一面を使って掲載されました。読み進めるとよく目にしている「熊野神社」狐碑のことであることが分かりました。

狐碑とは

大森山王三丁目高台にある「荒藺ヶ崎・熊野神社」の本殿近くにある30cmほどの石碑のことです。碑文を読めるように書き写した木製の掲示があり、悪さをしていた狐を退治してここに埋め、決して永久に掘り返すことのないようにと書かれています。

竹内さんのお話



左から編集委員長、井上宮司、竹内眞治さん

9月24日に地域情報紙「わがまち新井宿」の編集委員が集まり、インタビューの形式でお話を伺いました。

竹内さんは山王にお住まいの方で、定年後、古文書を読みたいという欲求から、大田区区史編集委員の山本定男さんに出会い、古文書の解読を始めました。そして山本定男さんから「熊野神社に狐碑があるが、まだ誰も手を付けていない」と聞き、色鉛筆で拓本を取り解読を試みました。山本先生の指導もあり、解読ができたので「わがまち新井宿」28号（平成14年12月号）第一面に掲載になりました。でも実は御嶽市正について、区内北嶺町の御嶽神社に照合しましたが、心当たり無しとのこと「御嶽市正」は正体不明だったのです。（注①）



東京新聞の記事



わがまち新井宿 28号



敷地内にある衆善稲荷の狐

靱矢市正とは誰だ

発表後、この心残りが次の発見につながります。令和3年5月31日の東京新聞に、青梅市にある武蔵御嶽神社の神主（御師）靱矢正さんの文字を見て、「これだ」と閃きました。6月1日には、靱矢正さんに手紙を出したのです。すると13日には連絡が入り「靱矢市正」は親戚筋ですとの答えが返ってきました。正しい読み方、「みたけ うつぼや いちのかみ」が分かったのです。

碑文の中の文久元年（1861年）は明治維新の7年前に当たります。およそ160年前、この辺りは長閑な農村で農作物を荒らす狐が害獣としてみなされていたようです。合わせて、大田区の口伝文集には狐に化かされたという話が数多く残されています。妖狐か？

この悪い狐を退治したのは誰なのか？御嶽神社の神主は関東一円の信者の集団『講』を回って札を配り、神事を執り行って来たという事実も分かりました。靱矢市正は今の東大田区や川崎市を担当していたとすると、『講』に頼まれて狐退治をしたのではないかと考えられます。今、渋沢栄一（1840-1931）を主人公にしたドラマ「青天を衝く」でも、狐憑きの場面で山伏のような出で立ちの行者が村人の願いを叶えようとする祈禱の場面があります。ちょうどそのころ、まだまだ物の怪が夜陰に乗じて跋扈するペリー来航のころ、狐の大敵オオカミを祀る御嶽山の「御師」は最適の者ではなかったかと考えられます。

本当に狐が害を及ぼしていたのか？

竹内さんの発見は歴史の中に埋もれがちな地域の伝承と、人々が遠距離を往来する様子を証明したことに繋がります。令和3年7月19日の東京新聞に狐退治の記事が載り、竹内さんの発見が大きく取り上げられ、これによって私たちが石碑の碑文を理解することとなりました。

ここに疑問が生まれます。石碑まで立てたのはなぜか？もしかすると狐ではなかったかもしれない。また狐は神使の性格と反対に妖怪という真逆な性格から（注②）、たとえ成敗しても神としての尊厳から碑を作り、霊を慰めようとしたのではないかと、とも考えられます。しかし熊野神社にもこれらのことについて詳しい書き物は残されていません。

竹内さんは次のようにおっしゃいました。「すべて解き明かされるとかえって面白くない。謎が残っていた方が想像力をかき立てるのではないのでしょうか。」

注① 区内北嶺町の御嶽神社は木曾御嶽神社の系列。武蔵御嶽神社は奈良県金峯山蔵王権現を勧請した神社で両社は信仰の形が異なります。
注② 穀物を食する鼠の天敵が狐である事から日本では稲作の普及とともに狐を大切にす文化が生まれ、狐は稲荷神社の眷属に納まった。一方狐が人を騙す、化ける妖怪であるという概念は中国の「九尾の狐」伝説に影響されたものとされています。



善慶寺の先の熊野神社鳥居



本殿への石段



石碑の全景



碑文



碑文を書いた立て札